



	テーマ	研修内容	期待される成果
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーション全般の留意点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>称賛ワーク(一分間自己紹介+フィードバック)</li> <li>立ち位置、話し方等における印象の違い等につき、ワークを通して説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の言動、立ち居振る舞いがどのように見えているか認識し、コミュニケーション方法を改善する</li> <li>相手目線に立ったコミュニケーションが取れるようになる</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>マナーの必要性についての理解と実践(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業にとってのマナーの意味 ~ 「信用」から「利益」へ</li> <li>個人にとってのマナーの意味 ~ 「信用」から「風格」へ</li> <li>ビジネスマナー実践と目線設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マナーが形式的な動作確認に終わらず、企業活動全体および個人の今後の人生全体に大きな影響を与えるものと自覚する</li> <li>自分の行動様式に対して高い目線・基準を設定する</li> </ul>
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>「話すこと」の機能、効果</li> <li>「聴くこと」の機能、効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「話すこと」「聴くこと」について理論的説明実施</li> <li>第1回に関連するテーマについて「報告」を実践</li> <li>「聴く人」観察ワーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話すこと、聞くことの理論的な目的・機能を理解し、より意識的に自分のコミュニケーション方法をコントロールできるようになる</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスマナー実践(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な場面におけるビジネスマナー実践(服装、挨拶、握手、冠婚葬祭、敬語、食事等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な場面のシミュレーションにより、相手目線での振舞いあるいは自分の見せ方の応用力を鍛える</li> <li>全ての言動、行動に心を配ることができるようになる</li> </ul>
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の価値観、強みの把握</li> <li>他者との違いの理解</li> <li>多様性のもつチームへの貢献度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者に関する理解度・認識度を確認するワーク</li> <li>お互いの価値観、強みを共有し、自分との違いを認識</li> <li>多様性の持つイノベーションへの貢献を説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分と他者とは違うということを明確に理解すると同時に、いかに他者を知らないかを認識する</li> <li>「自分と他人とは違う」ということの良い面を理解できる</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己啓発の必要性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会人にとっての自己投資とは(リスクの取り方、お金の使い方)</li> <li>経験(実践)の重要性と、経験に拘らないことの重要性</li> <li>「人格教育」と「職業教育」が車の両輪</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会人になってからこそ長期的・継続的な自己投資が必要であることを知る</li> <li>知識・経験・人間力を深め、人格磨きの必要性を理解する</li> </ul>

